

『近畿地区 大学生SDGsセミナー』

日程 2018年7月7日(土)
会場 (大阪・梅田) ハービスPLAZA 会議室
主催 全国ユース環境ネットワーク事務局
(独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金)
共催 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会
協力 環境省 近畿環境パートナーシップオフィス(さんき環境館)
近畿地方ESD活動支援センター
阪急阪神ホールディングス株式会社
NPO法人いけだエコスタッフ

「SDGs」=持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



2018年7月に、近畿地区で「持続可能な開発目標(SDGs)」の活動に取り組む大学生が大阪市に集まりました。

持続可能な社会を作り出すことを同じ目的としている仲間でも、活動内容も多様で、SDGsとどのようにつながっているか、また、近畿の大学生としてどのようにSDGsと関われるかを、社会人からの講演や学生同士での意見交換を踏まえ、理解を深めました。

基調講演

『阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動』

講演名：「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」～持続可能な社会づくりのために～

講師名：阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務室 総務部 社会貢献担当 相良 有希子

阪急阪神ホールディングスグループではグループ全体で進める社会貢献活動として「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を実施しており、阪急阪神沿線を中心に、一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指しています。特に「地域環境づくり」、「次世代の育成」を重点的な領域としており、グループ各社や従業員、地域などの多様なステークホルダーとの協働により、単一の企業だけでは生み出せない大きな効果を得ることを目指しています。本プロジェクトの活動として、例えば地元企業と協力した省エネイベントや小学生向けのキャリア教育プログラム、従業員の募金を基にした助成金や交通広告での広報による、市民団体の活動支援などといった多様な活動を実施しており、様々なステークホルダーと連携して展開することで、SDGsにもあるような多様な手法を以ってして、地域の発展への貢献をしたいと考えています。



事例紹介

講演名：「NPO法人いけだエコスタッフの事例紹介」

講師名：NPO法人いけだエコスタッフ 理事長 庄田 佳保里

いけだエコスタッフは池田市環境基本計画の普及、啓発、実践のために2001年に発足した団体で、現在は「池田市立3R推進センター・エコミュージアム」の運営や、「いけだ市民共同発電所」の設置、環境講座や出前授業の開催、小学校の先生への支援などの環境学習事業、そしてSDGsや温暖化防止の活動を行っています。広く市民に環境保全の大切さを知ってもらう事業を行うことで、池田市内および周辺地域の環境保全を図り、地球温暖化防止に努め、持続可能で豊かな生活環境を実現することを目的に、人と人の輪を広げ、活動をしています。持続可能な開発に必要なとされている5つのP (People, Prosperity, Peace, Partnership, Planet) を念頭に置きながら、SDGsの理念にもある「だれ一人取り残さない」を重視し、様々な人とのパートナーシップを築きあげながら、持続可能な社会の実現に向けた取組を続けます。

